

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）

渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について

道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」（平成21年12月、観光庁）を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」（平成9年1月制定に準ずる）に基づき実施しています。

【注記】

① 各市町村の数字について

入込客数：各市町村内で、1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

宿泊客：各市町村内で、1人の観光客が1回の旅行で一つの宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

宿泊客延数：各市町村内で、1人の観光客が1つの宿泊施設に複数泊すると泊数分が計算されます。

② 管内総数の数字について

各市町村の数字の単純合計です。管内市町村間の重複は調整されていません。

例）1人の観光客が1度の旅行で2市町村を訪れ、それぞれで観光地点を訪れた場合、管内総数の入込客数では、2人と計算されます。

③ 上期の実績について

同調査の上期実績を平成28年12月に公表しておりますが、公表後に上期の数字に修正があった場合は、今調査で修正しています。

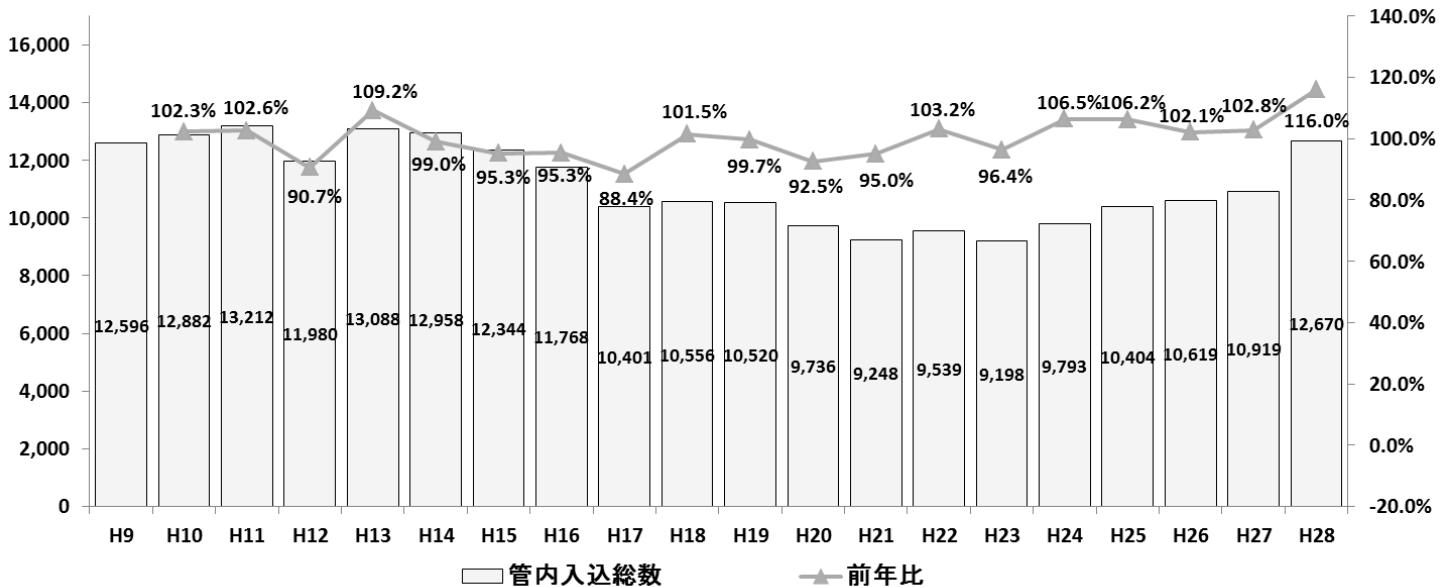
1. 概況

平成28年度の渡島管内観光入込客数の総数は、約1,267万人で、前年から約175万人の増加、対前年比116.0%となり、平成15年以降で最高の入込客数となりました。

増加の主な要因としては、北海道新幹線の開業、それに伴う渡島エリアのメディア等への露出機会の増加、旅行会社によるツアーの増加、青森県・函館デスティネーションキャンペーンによる誘客効果、そして管内で近年オープンした道の駅等の観光施設が引き続き好調だったこと等が挙げられます。

	(単位：千人)			
	平成27年度	平成28年度	前年差	前年比
入込客総数	10,919.1	12,670.1	+1,751.0	116.0%

【入込客総数の推移】



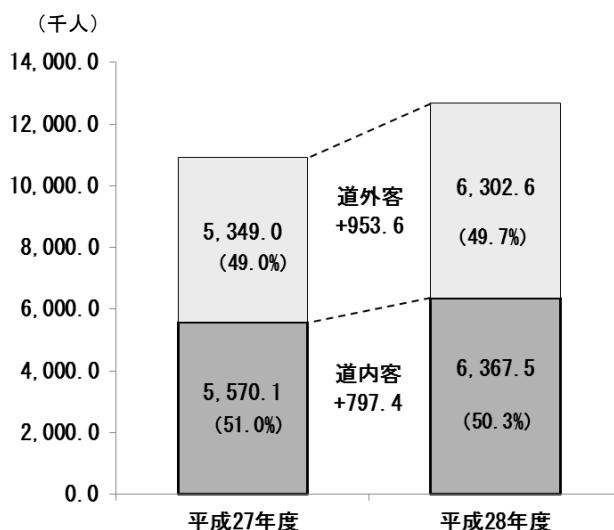
2. 「道内容・道外客」別、「日帰客・宿泊客」別の状況

道内・道外観光客別では、道内容客は約79万7千人（対前年比114.3%）、道外客は約95万4千人（同117.8%）の増加となりました。

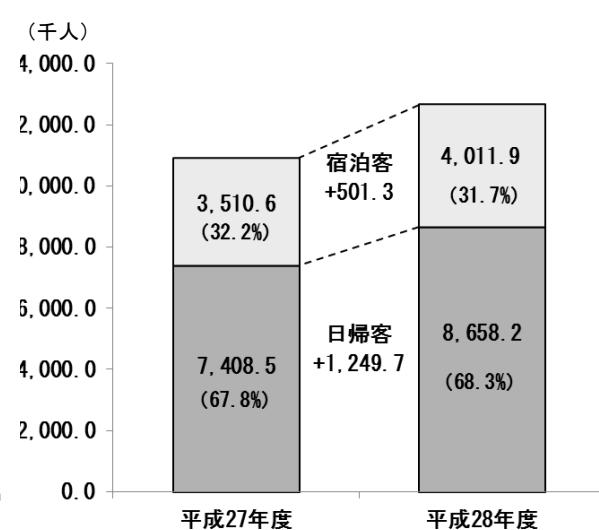
日帰・宿泊客別では、日帰客は約125万人（対前年比116.9%）、宿泊客は約50万人（同114.3%）の増加となりました。

			平成27年度	平成28年度	前年差	前年比
道内：道外	実数	道内容客	5,570.1	6,367.5	+797.4	114.3%
		道外客	5,349.0	6,302.6	+953.6	117.8%
	構成比	道内容客	51.0%	50.3%	▲0.8%	-
		道外客	49.0%	49.7%	+0.8%	-
日帰：宿泊	実数	日帰客	7,408.5	8,658.2	+1,249.7	116.9%
		宿泊客	3,510.6	4,011.9	+501.3	114.3%
	構成比	日帰客	67.8%	68.3%	+0.5%	-
		宿泊客	32.2%	31.7%	▲0.5%	-
宿泊客延数（千人泊）			4,162.1	4,853.8	+691.7	116.6%

【道内容客：道外客の増減】



【日帰客：宿泊客の増減】

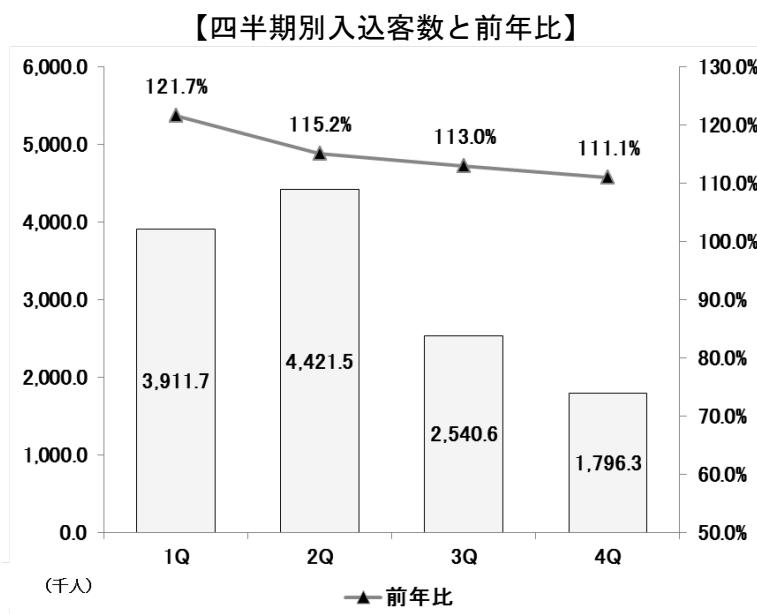
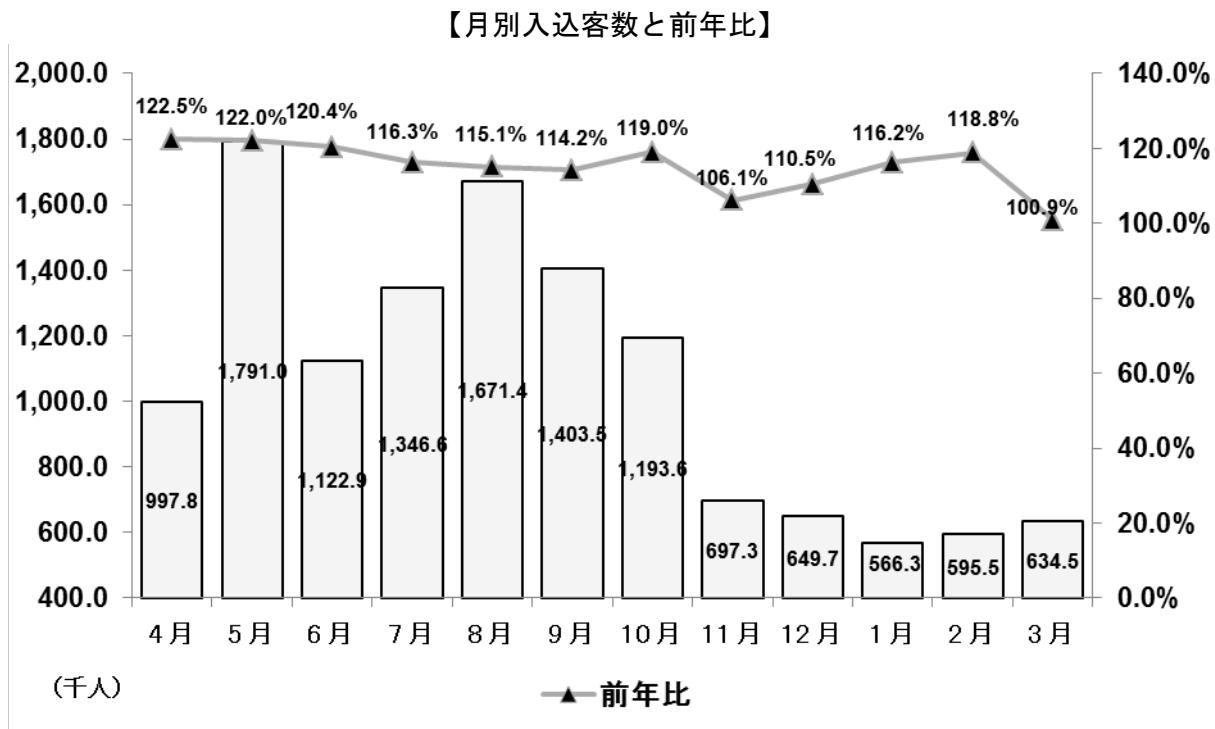


※ 括弧内の数字は構成比

3. 月別・四半期別の入込客数推移

北海道新幹線の開業効果により、3月を除いて入込客数が前年より増加という結果になりました。特に北海道新幹線開業直後の第1四半期は、新幹線開業関連イベントや6月に函館市で初のフルマラソン大会の開催があったこともあり、前年比121.7%と、大きく増加しました。

	月別				四半期別				(単位：千人)
	平成27年度	平成28年度	前年差	前年比	平成27年度	平成28年度	前年差	前年比	
1Q	4月	814.6	997.8	+183.2	122.5%	3,214.7	3,911.7	+697.0	121.7%
	5月	1,467.6	1,791.0	+323.4	122.0%				
	6月	932.5	1,122.9	+190.4	120.4%				
2Q	7月	1,157.6	1,346.6	+189.0	116.3%	3,839.3	4,421.5	+582.2	115.2%
	8月	1,452.6	1,671.4	+218.8	115.1%				
	9月	1,229.1	1,403.5	+174.4	114.2%				
3Q	10月	1,002.8	1,193.6	+190.8	119.0%	2,247.8	2,540.6	+292.8	113.0%
	11月	657.1	697.3	+40.2	106.1%				
	12月	587.9	649.7	+61.8	110.5%				
4Q	1月	487.2	566.3	+79.1	116.2%	1,617.3	1,796.3	+179.0	111.1%
	2月	501.3	595.5	+94.2	118.8%				
	3月	628.8	634.5	+5.7	100.9%				
合計		10,919.1	12,670.1	+1,751.0	116.0%	10,919.1	12,670.1	+1,751.0	116.0%



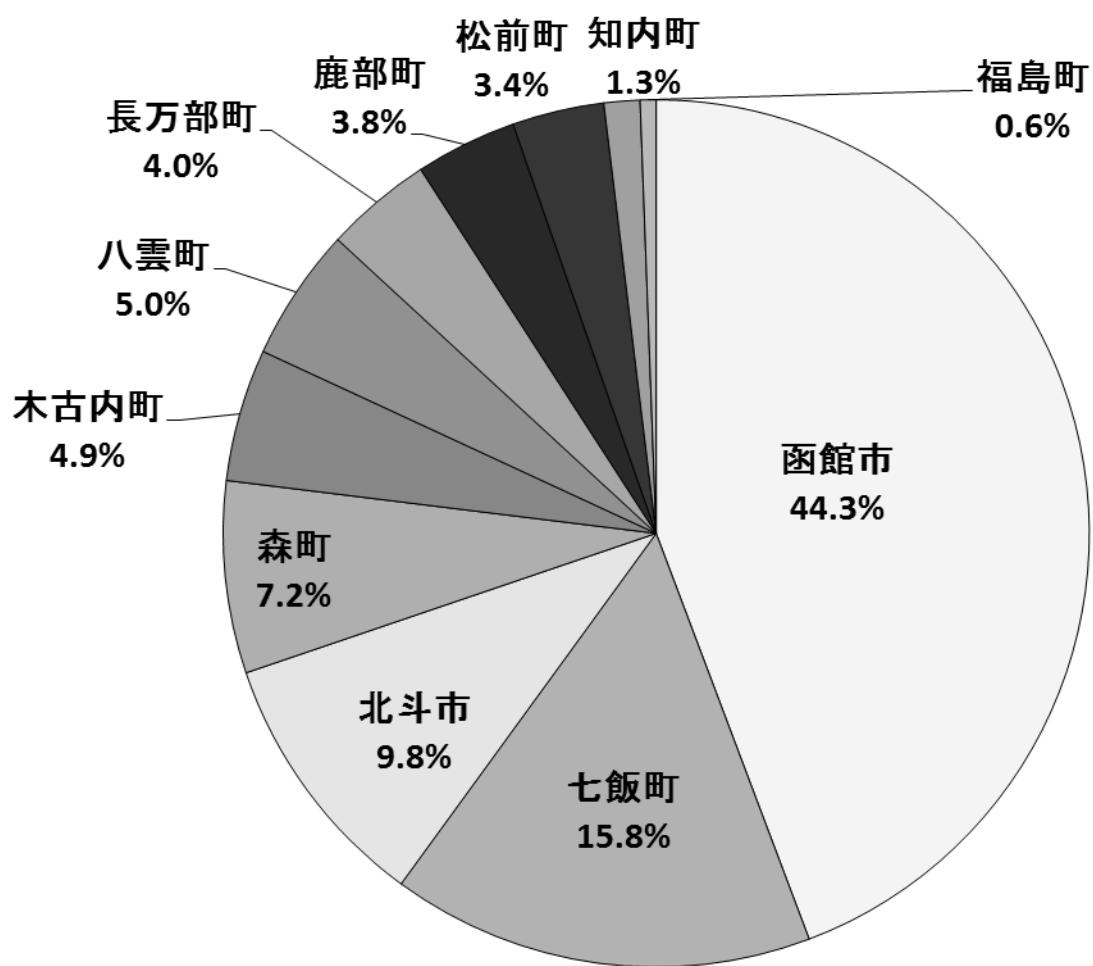
4. 市町別入込状況

	(単位 : 千人)			
	平成27年度	平成28年度	前年差	前年比
函館市	4,946.6	5,606.9	+660.3	113.3%
北斗市	1,058.8	1,237.7	+178.9	116.9%
松前町	407.9	434.9	+27.0	106.6%
福島町	70.5	75.0	+4.5	106.4%
知内町	155.1	169.8	+14.7	109.5%
木古内町	152.7	626.1	+473.4	410.0%
七飯町	1,921.7	1,998.1	+76.4	104.0%
鹿部町	213.9	479.5	+265.6	224.2%
森町	912.2	907.1	▲ 5.1	99.4%
八雲町	573.1	628.0	+54.9	109.6%
長万部町	506.6	507.0	+0.4	100.1%
管内計	10,919.1	12,670.1	+1,751.0	116.0%

5. 管内市町構成比

	平成27年度	平成28年度	前年差
函館市	45.3%	44.3%	▲1.0%
北斗市	9.7%	9.8%	+0.1%
松前町	3.7%	3.4%	▲0.3%
福島町	0.6%	0.6%	▲0.1%
知内町	1.4%	1.3%	▲0.1%
木古内町	1.4%	4.9%	+3.5%
七飯町	17.6%	15.8%	▲1.8%
鹿部町	2.0%	3.8%	+1.8%
森町	8.4%	7.2%	▲1.2%
八雲町	5.2%	5.0%	▲0.3%
長万部町	4.6%	4.0%	▲0.6%
管内計	100.0%	100.0%	+0.0%

【市町構成比】



平成28年度 渡島管内各市町観光客入込状況

	内訳										主な増減要因	
	入込総数		(道外客)		(道内客)		(日帰客)		(宿泊客)			
	H28	前年比										
函館市	5,606.9	113.3%	3,760.8	117.0%	1,846.1	106.6%	1,961.2	111.9%	3,645.7	114.2%	昨年3月26日の北海道新幹線の開業やマスメディア等による発信をはじめ、開業関連イベントや本市初のフルマラソン大会の開催効果のほか、青森県・函館デステイネーションキャンペーンによる誘客などにより、関東・東北を中心に多くの方が来函されたことから、前年を大きく上回る過去最高の入込客数を記録した。	
北斗市	1,237.7	116.9%	236.6	520.0%	1,001.1	98.8%	1,209.3	116.9%	28.4	115.9%	北海道新幹線開業による影響で、全体的に入込客数は増加している。特に、昨年度における新規開業施設(北斗フィッシュリー、観光案内所、おがーる、きじひき高原パノラマ展望台)の入込客数が大幅増となっており、いずれも観光地としての認知度の向上等が大きな増加要因と思われる。	
松前町	434.9	106.6%	91.1	106.8%	343.8	106.6%	391.3	106.7%	43.6	106.3%	全道的に桜の開花が早まり、GW中の観光客が分散したが、新幹線開業年の影響か、個人客、バス利用客とも微増になった。一方で、12月から3月までの冬季間について、道の駅の利用者が前年と比較すると減少したため、下期は微減した結果になった。	
福島町	75.0	106.4%	7.7	116.7%	67.3	105.3%	72.4	106.0%	2.6	118.2%	九重部屋親方である千代の富士寅が死去されたことによる献花・記帳に来場者が大幅に増加した。ビーチオープン期間は町外への周知を広く行うとともに、天候に恵まれたこともあり昨年より大幅に増加した。また、北海道新幹線開業による観光客が少しづつ増加している状況である。	
知内町	169.8	109.5%	46.7	100.4%	123.1	113.4%	155.8	111.4%	14.0	92.1%	昨年は新幹線開業効果もあり観光客が増えていたが、今年は、新幹線開業効果があり発揮されず、全体的に減少傾向であると考えられる。	
木古内町	626.1	410.0%	123.6	640.4%	502.5	376.7%	615.5	412.5%	10.6	302.9%	北海道新幹線開業及び道の駅がオープンしたことによい入込客の増加となった。新幹線開業、道の駅オープンから1年経過して入込客数も落ち着いてきている。	
七飯町	1,998.1	104.0%	1,457.2	105.1%	540.9	101.0%	1,876.2	102.4%	121.9	135.7%	昨年の入込数と比較すると上期・下期どちらも上回っており、新幹線開業に伴う旅行会社のツアー増加により道外からの観光客、インバウンドが好調で増加した。また、道内からの観光客も昨年より増加した。宿泊施設については、夏季・冬季共にツアーオープン時期にインバウンドの増加がみられ、それ以外の時期についても昨年のすべての月を上回った。国内客は新幹線開業効果からか増加を見せた。一方、日帰り施設については大型連休であるゴールデンウィーク以降増加。インバウンドは月によって変動があるものの全体的に昨年の数値を上回った。	
鹿部町	479.5	224.2%	25.4	87.6%	454.1	245.6%	445.5	249.9%	34.0	95.5%	しかべ間歇泉公園が平成28年3月にオープンし、北海道新幹線も同月に開業したため、鹿部町に訪れる観光客が前年に比べ大幅に多くなっている。	
森町	907.1	99.4%	189.5	107.2%	717.6	97.6%	835.8	98.5%	71.3	111.9%	桜の開花時期が早かったため桜まつりの入込客数が減少した。また、平成27年度に合併10周年記念イベントを実施したことによる減少の原因と考えられる。大型宿泊施設ではインバウンドやスキーパークなどが好調であった。	
八雲町	628.0	109.6%	195.6	114.5%	432.4	107.5%	605.8	110.4%	22.2	91.0%	熊石地域の観光入込客数の減少や、各イベントも悪天候の影響から前年度より勤員数が減少したものがあった。一方で、秋祭りが前年度と比べ5倍の勤員数を記録し、郷土資料館や木彫り熊資料館は年々勤員数を増加している。また、噴火湾パノラマパークの勤員数が道外・道内双方上昇していることが主な増因とみて結果的に、前年度の総計から7万人増となつた。	
長万部町	507.0	100.1%	168.4	100.1%	338.6	100.1%	489.4	100.1%	17.6	100.6%	新幹線開業による観光客増加と温泉利用者の増加により、全体では前年比微増となつた。	